

総務委員会 基本方針

専務理事 古林 史也

総務委員会 委員長 金山 一江

58年という長きに渡り続いてきた鳴門板野JCは、これまで多くの先輩方が明るい豊かな社会の実現を目指し素晴らしい歴史を築いてこられました。その熱い思いを紡いでいくためには、今後も円滑な組織運営をしていくための下支えとなり、メンバーとの親交を深めることがJC活動への参加意識の向上につながると考えます。さらに、地域から必要とされる組織となるには、個々が地域の課題に取り組むという自覚を持つ必要があります。

まずは、地域の課題解決に取り組むことを目的とした組織であるリーダーたちが理事長方針をメンバーで共有し、採決することで1年間の方向性を決める定時総会を開催します。また、鳴門板野徳島合同例会では主管である徳島JCとの相互理解を深め、情報交換を密に行いサポートするだけでなく構築に至る改善提案など関わっていくことで両LOMのつながりやコミュニティを形成でき、それがJC活動の発展につながります。さらに、創立記念祝賀会を開催する際には多くの現役メンバーやシニアクラブのメンバーに参加していただき、先輩方と交流することによってJC活動への取り組みについて改めて考えていくことができ、それが持続可能な成長を続けていくことにつながります。そして、JC活動を次年度へ継承していくことを目的とした臨時総会では理事予定者を決め組織を引っ張っていくリーダーである理事長予定者を選出するための場を企画設営します。また、これまでご活躍されたメンバーが卒業される際には、功績を称え盛大に送り出すために新たな門出を祝い、今後のご活躍を応援しつつ敬意を表した卒業式及び忘年会を企画設営します。

JCの一員であることを自覚し、メンバーそれぞれが地域の発展や活性化に貢献するという当事者意識を持つことで、組織全体に結束力が生まれメンバーや組織の更なる成長へと結びつき、その結束力が地域の課題を解決していくことにつながると確信しております。

SDGs 17

【事業計画】

1. 1月定時総会・7月臨時総会の設営
2. 3月鳴門板野・徳島合同例会の企画・設営
3. 7月創立記念祝賀会の企画・設営
4. 12月卒業式・忘年会の企画・設営